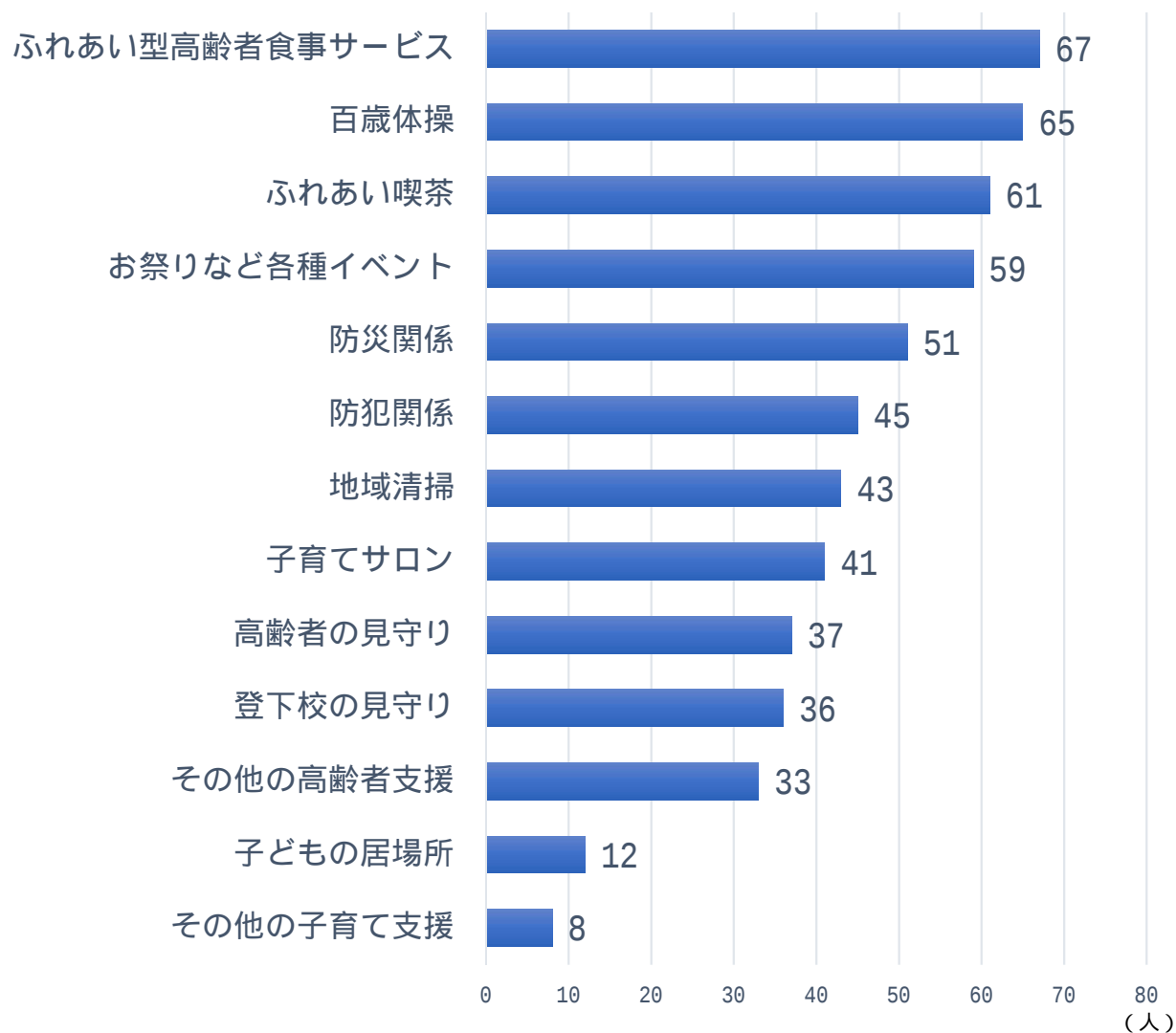


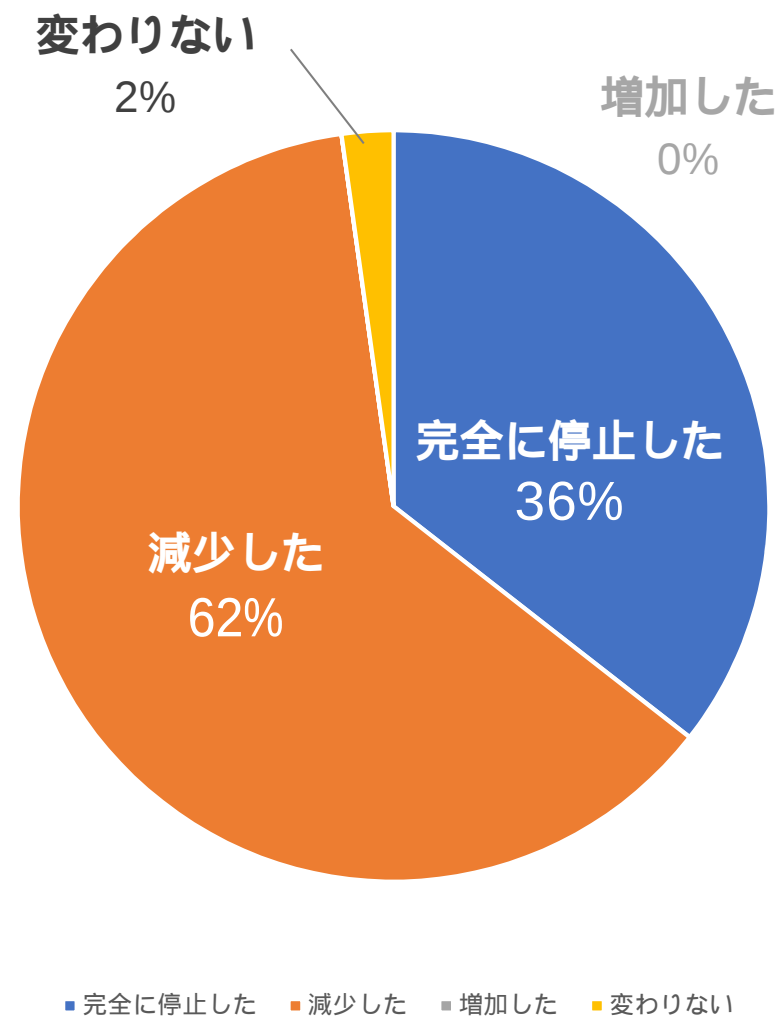
# 『コロナ情勢下における地域活動者アンケート』

- 令和2年12月～令和3年1月22日実施
- 対象地域：北区19地域
- 回収数：131

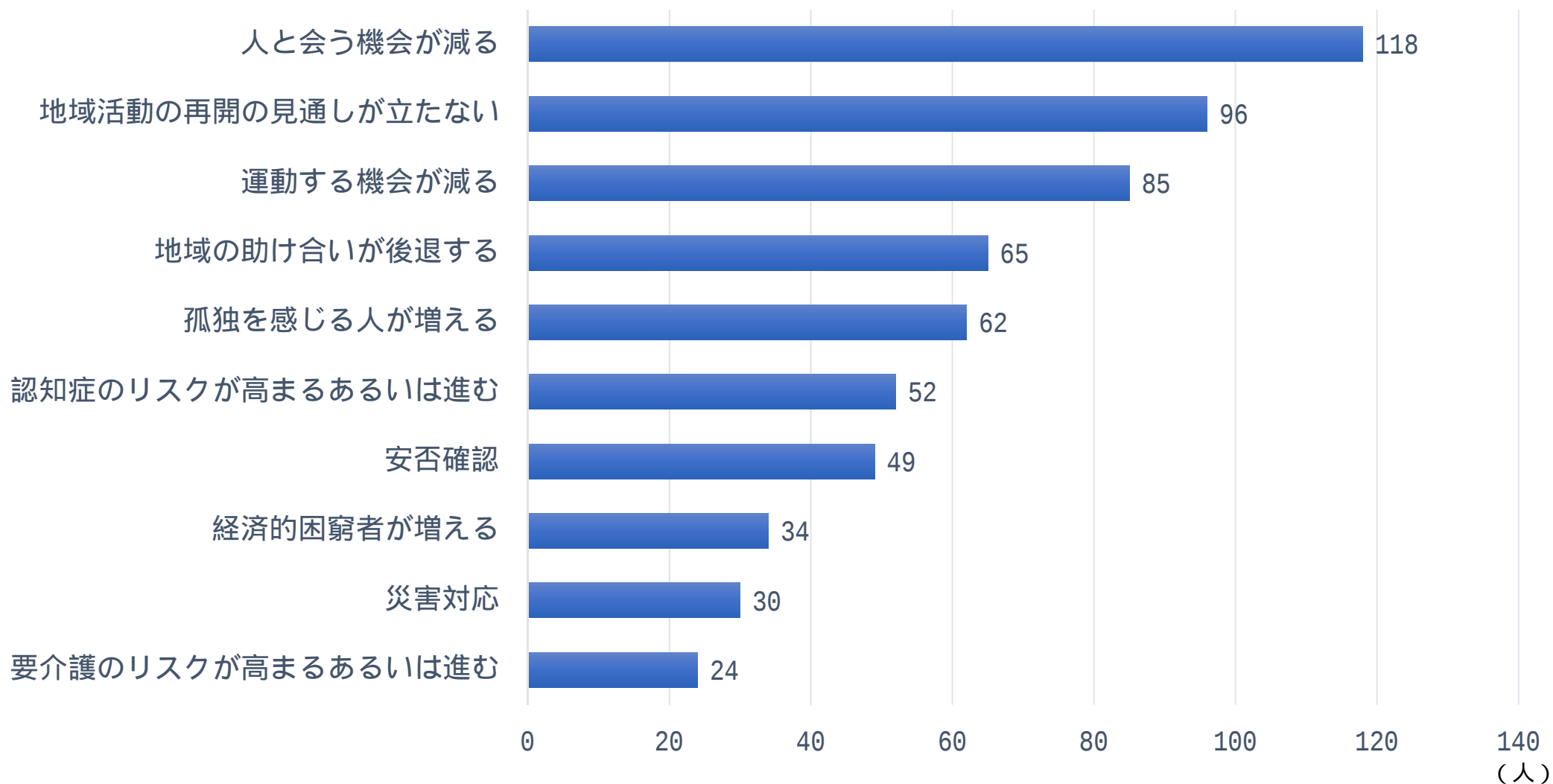
## 主な活動分野を教えてください（複数回答可）



## 新型コロナウイルス感染により活動頻度は変化しましたか？

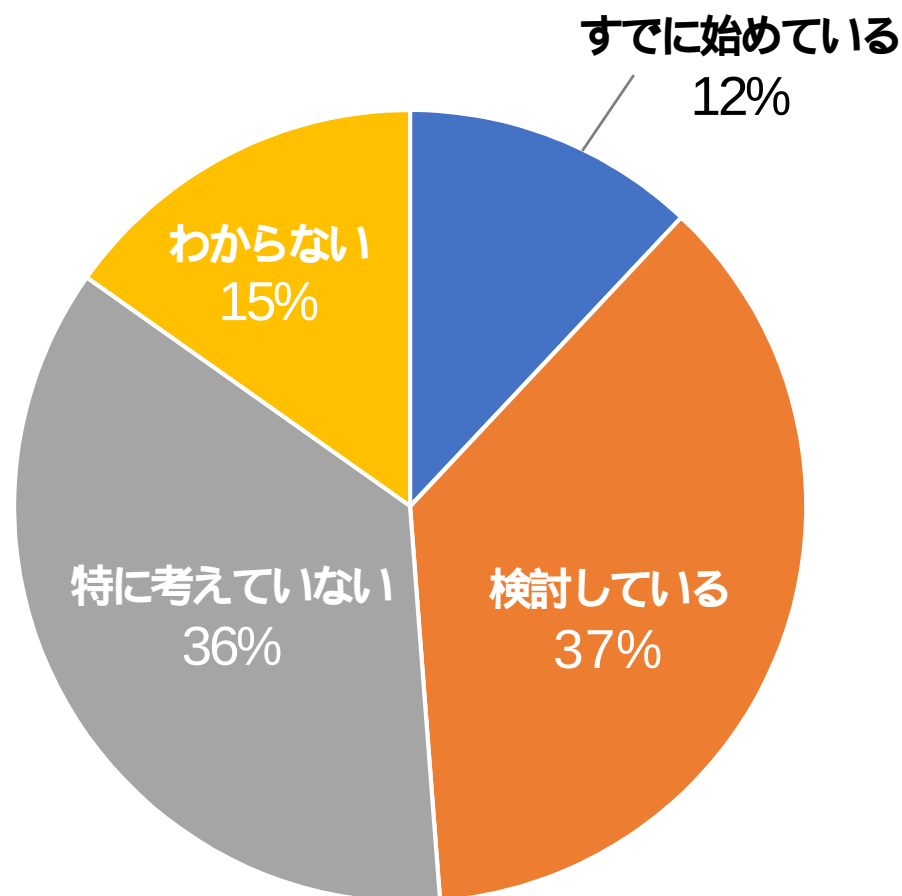


## 新型コロナウイルス感染の影響により、みなさまの地域では どのような課題が深刻になっていると感じますか？（複数回答可）



【その他回答】 「配布」「季節行事が停止することで節目行事ができずメリハリがない」

## -1. コロナの影響により新たな取り組みを始めている、または始めることを検討していますか？（複数回答可）

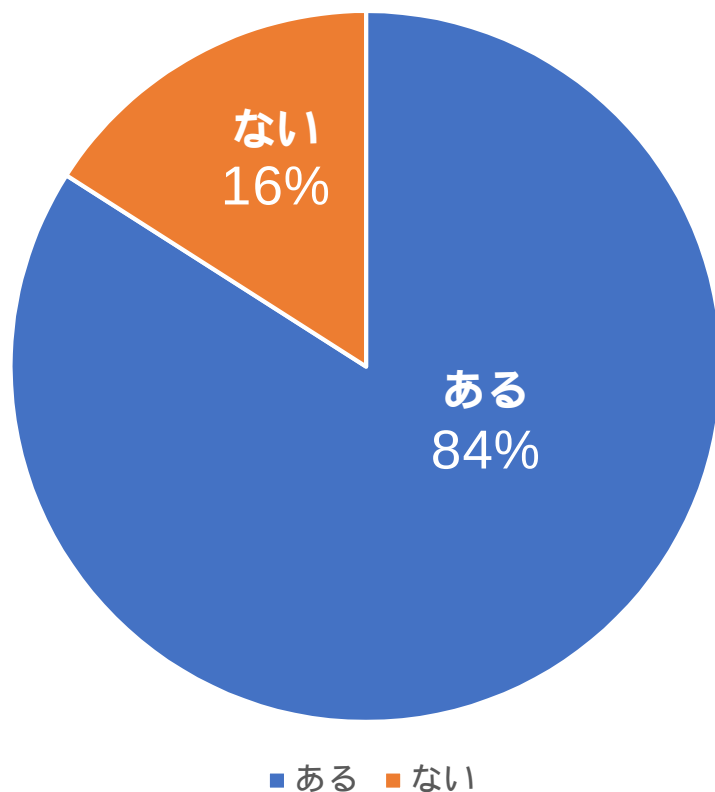


■すでに始めている ■検討している ■特に考えていない ■わからない

## -2. 具体的な取り組み内容があれば教えてください（自由記述）

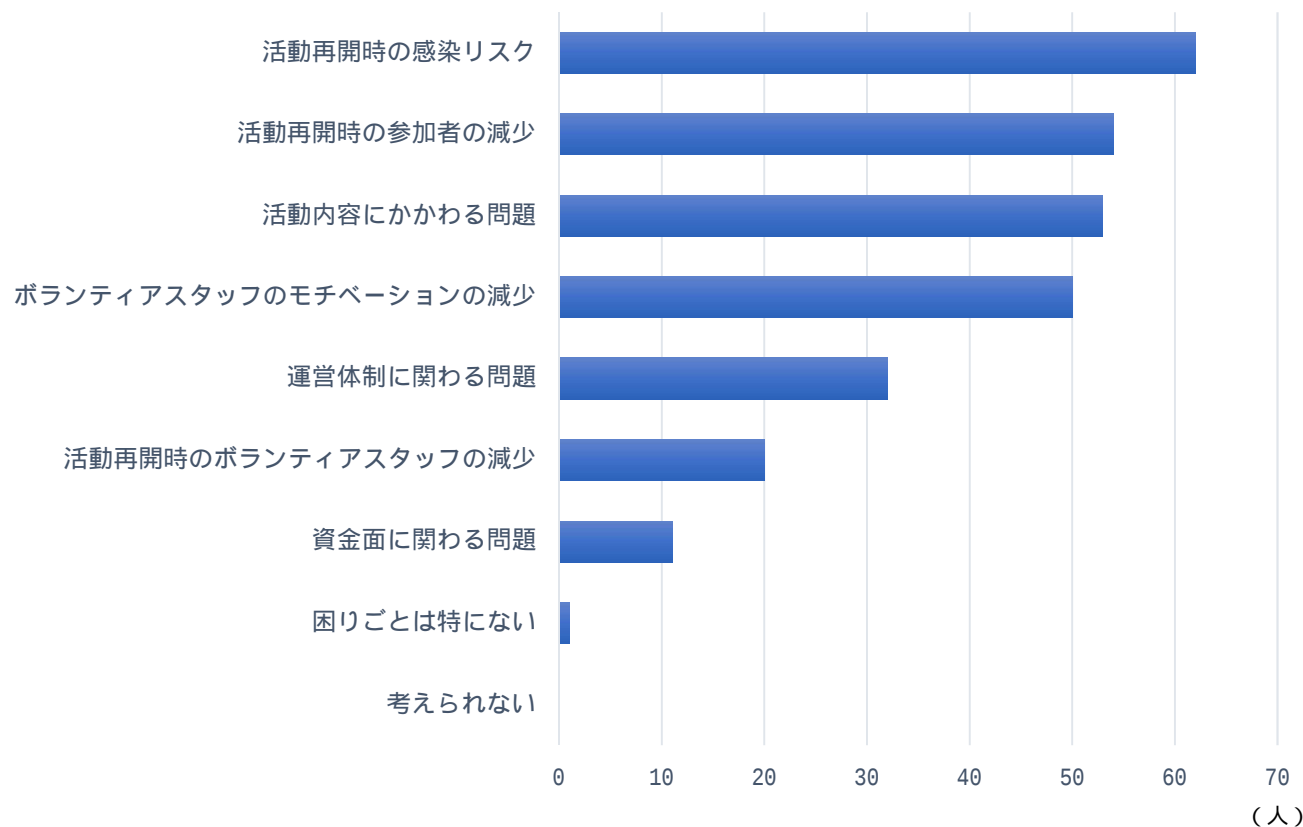
- ・1町会単位でふれあい喫茶実施。ひとりぐらし高齢者に電話で安否確認（地域民生委員として）
- ・かぎられた方（役員）で決められているので一般の方は何もわからない
- ・食サの行事中止通達終了後は、全員本人に会館までお弁当を取りに来ていただきました。その時点で安否確認ができました。地域行事のチラシや社協からの小冊子等お役立ち情報は戸別に配布しました。百歳体操は2部に分けて実施。
- ・食事サービス（配食にする）、ヨガ教室（ヨガマットで寝る→イスを使って座ってする）
- ・高齢者食事サービス手作り→12月19日に今年度初めて実施しました
- ・老食12月より＝手作り＝弁当配食を
- ・餅つきに代わり世帯間交流を深める為そば打ち体験を開始した。
- ・地域活動協議会を借主とする賃貸借契約を締結した。
- ・対面での活動には制限がありますがその分、リモートによる会話の機会を増やし情報交換を密にしてゆきたいと考えています。
- ・Zoom、Google Meet
- ・子どもの居場所となる事業を始めた（緊急警戒のため自粛中）
- ・抗ウィルスの対策をして食事タイムを少人数から
- ・防災展示
- ・毎日百歳体操など
- ・祝いの品の配布など
- ・1/13～2/7までは緊急事態発令の為活動停止ですが手洗マスク3密を心がけ活動出来ればと思います。
- ・日曜サロン再開を早急にやりたい
- ・少しでもおちつけばオープンカフェなど
- ・教えてください。お願いいたします。
- ・しっかり対策して活動できないか色々考え中。パーティション作り。新メニュー。
- ・食事サービスが密になる為、見守りを兼ねて宅配をしています。
- ・検討中です。
- ・LINEなどを利用して状況（確認）を知らせてもらう
- ・電話をかけて話をする、メモを入れておく
- ・電話、ライン

## -1. コロナの影響により地域の運営や活動に関する困りごとはありますか？



## -2. ある場合、どのような困りごとですか？

(複数回答可)



### 【その他回答】

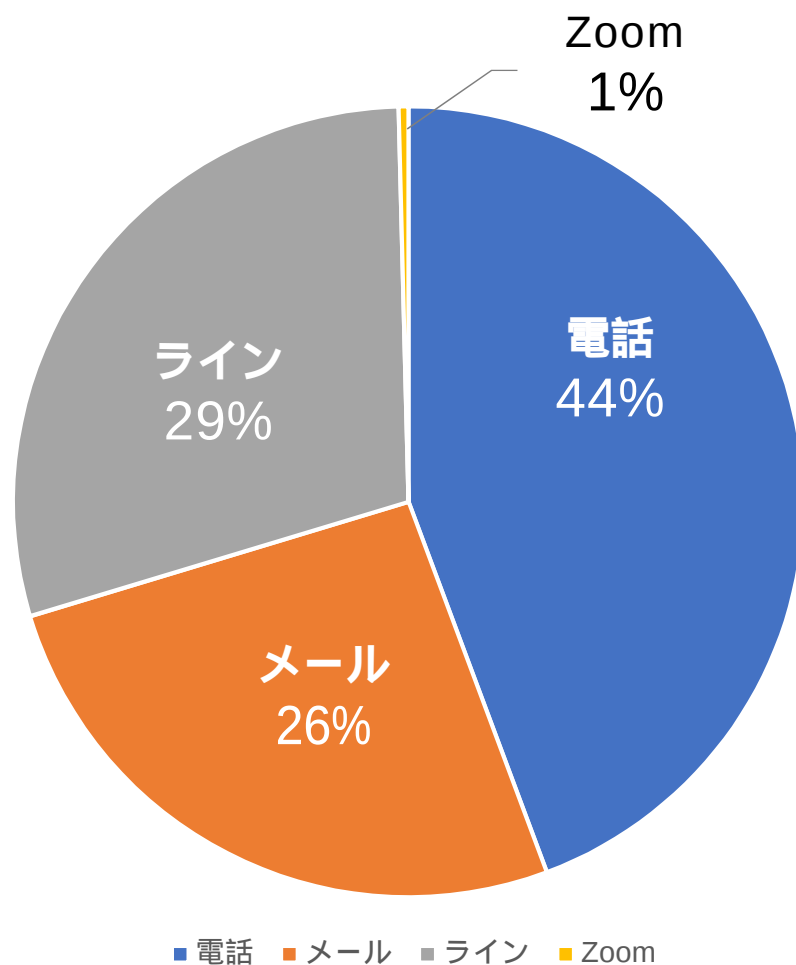
「活動ができないこと」「会う機会が少なくなった」「ボランティアさんに声掛けしにくくなる」「参加数が減っている、便りを入れても要・不要の連絡もなく毎回電話をして確認しなければならない。特に食事サービス」「規模からして大人数は無理になる」「行事が出来ないので地域の人たちとのふれあいが無い」「行事ごとができない」「駐輪場の運営」「市営の運動施設を有料で予約にて使用しているが、市の警戒宣言で活動できない。しかし、予約した施設はキャンセル期間(21日前迄)が過ぎており使用料が発生する。使いたいけど感染防止のため活動を中止しているが費用だけがかかる」「実施日2日前のふれあい喫茶の再開時期。用意したカステラが無駄になりました。お茶は次に生かす事ができます。イエローステージが出て之を護った為です。歳末夜警にはお茶のサービスはさせて欲しい短縮実施予定12/25」

### -3. 困りごとを解決したり、少しでも改善するために 何が必要だと思いますか（複数回答可）

- ・地域の方々に声掛けをし募集のチラシを配布したいです。感染リスクを無くする努力をより一層しっかりやりたいです。
- ・コロナの減少
- ・情報の交換、伝達が大切
- ・コロナの収束
- ・相談する場所の周知（コーディネーターを知らない人がほとんどでは？）
- ・二部制や消毒などでボランティアの負荷や人数不足が起きている。ボランティアの充足が必要。
- ・話し合いがない＝少なくとも会議は月1回必要
- ・若いメンバーを取り入れたいが、なかなか
- ・窓を半分開け、暖房を上げる
- ・会議でもふれあい喫茶の講義でも机の配置は学校方式とする。
- ・関係機関の情報交換を常に連絡し合う事
- ・新型コロナウイルスが効く感染も収まる特效薬を早く作ってほしい
- ・役所等の支援
- ・会員メールと出来るだけ多く、コミュニケーションの機会を持ちたい。
- ・地域の各団体長との意見交換、情報の共有
- ・施設の利用規約の見直し又は施設の全面的停止
- ・政治的解決早急に必要
- ・何でも自分一人でかかえないこと。工夫をこらすよう努力
- ・オンラインでも会議...といいたい所ですが、地域で活動する方の高齢化のためそれも難しい...
- ・コロナに対するワクチン接種など
- ・助成金等の使途規制の緩和
- ・コロナ対策をしっかりやる事
- ・スタッフのチームワークです
- ・1日でも早くコロナがおさまる事
- ・少しでもおちつけばオープンカフェなど
- ・教えてください。お願いいたします。
- ・テイクアウトが可能だと、少し変わってくるかも。
- ・スタッフ同士の話し合い、以前と同様でなくても社会状況に合わせた変化を受け止め進める気持ち
- ・地域内での密な連絡
- ・気軽に相談できる組織づくり
- ・関係スタッフとの協議（現行では実施できない）
- ・相互の関係を密にしておく
- ・会って意見の交換、必要
- ・連絡、会話する手段
- ・指針が不十分
- ・連携

-1.地域内の関係者やメンバー等との  
連絡方法を教えてください。

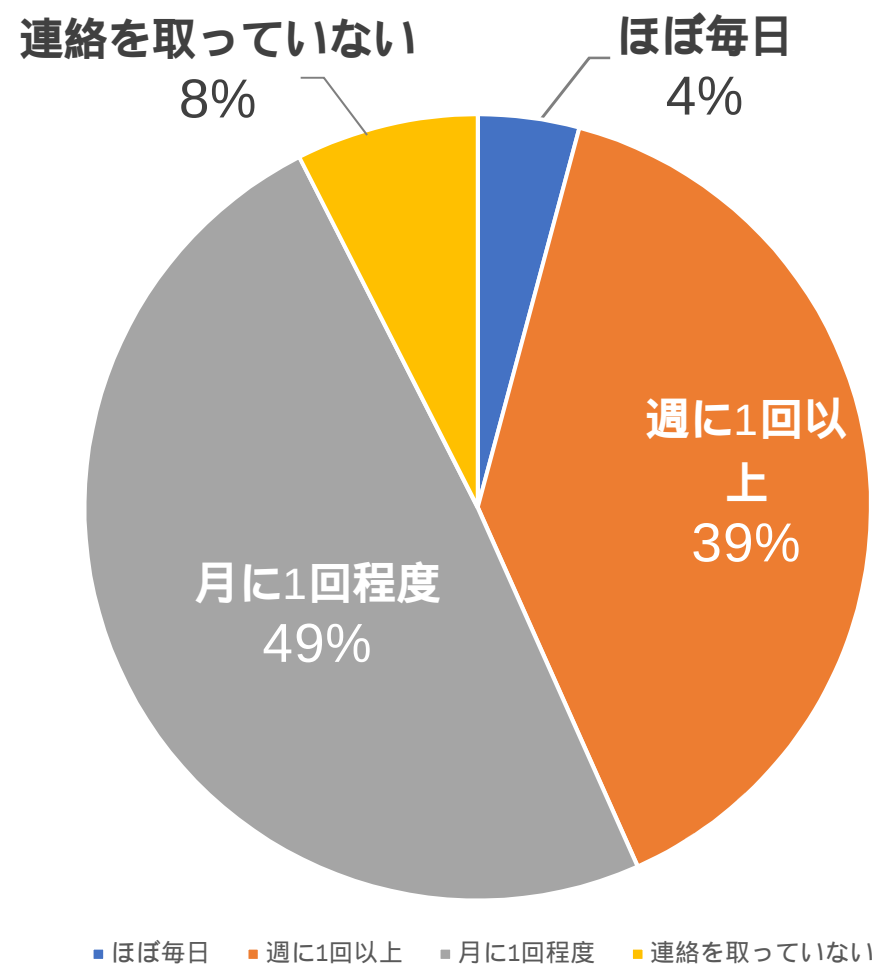
(複数回答可)



【その他回答】

「道路上での会話」「回覧」「はがき」「チラシの配布」「訪問」「チラシ」

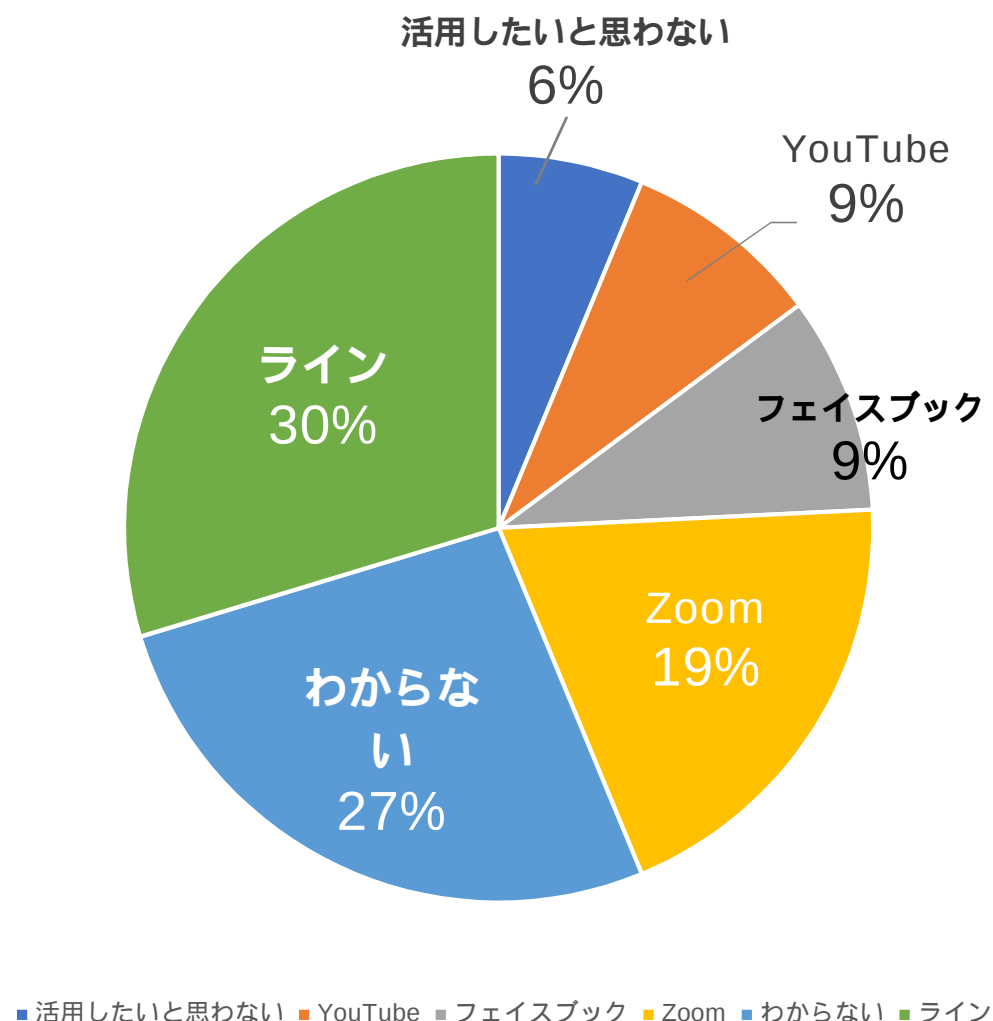
-2.連絡方法の頻度を教えてください。



【その他回答】

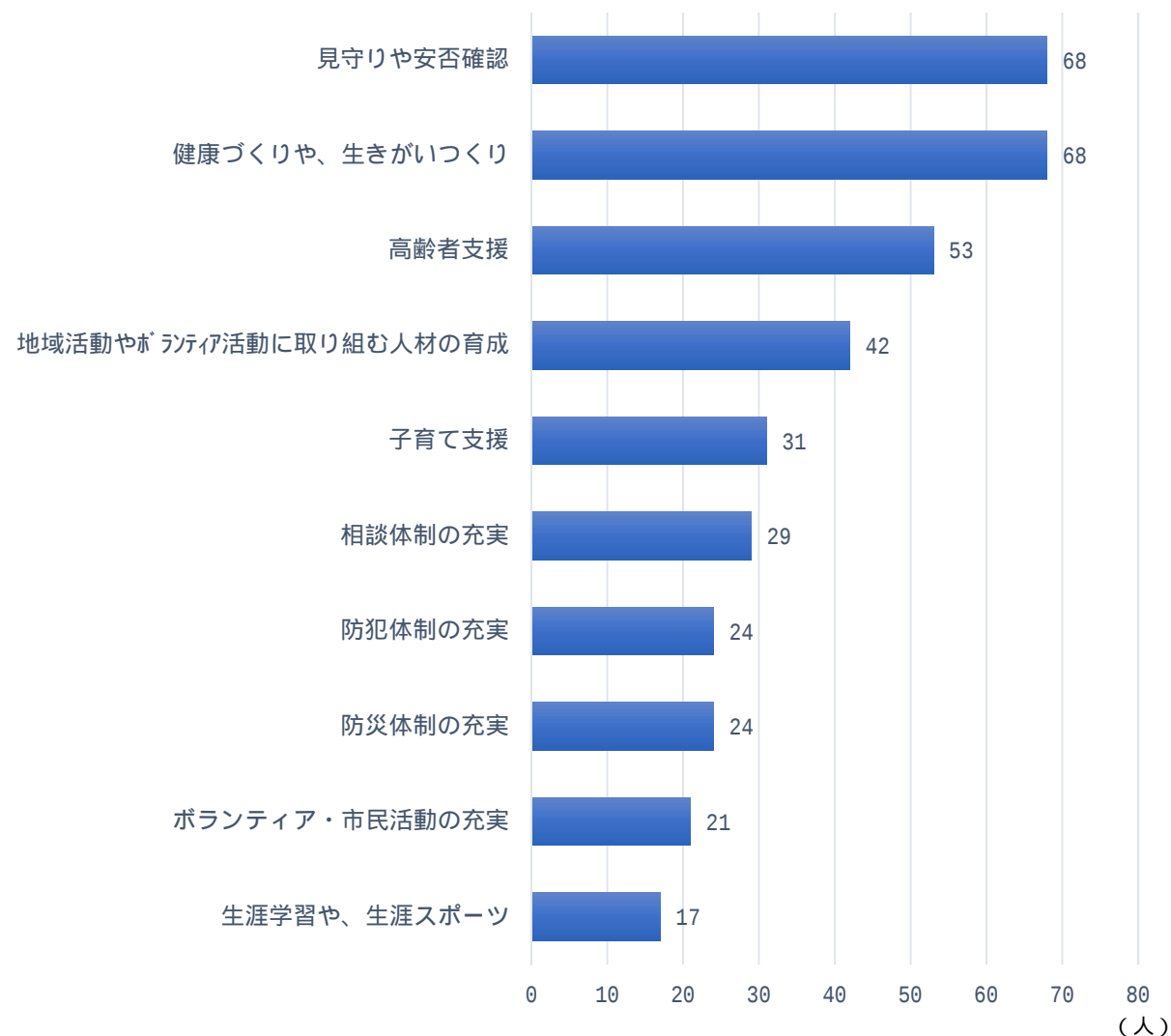
「用事がある時」「会議業務の合間」「必要がある時」

今後の活動のために、使い方がわかれば活用してみたいサービスはありますか？（複数回答可）



【その他回答】 「チームス」「対面方式で」

新型コロナウイルス感染の影響により、改めて必要だと感じることはどんなことですか？（3つ回答可）



【その他回答】 「若者たちに感染した時の怖さをもっと知らせるべき！だと思う。」

# 活動にあたり、どんな工夫や対策を行っていますか（自由記述）

- ・ふれあい喫茶では飲み物・菓子は提供するが飲食はしないで持ち帰ってもらった。ひとりぐらし高齢者の安否確認は電話で行う。
- ・関係者の方々と連絡を密にし、気になった事は地域福祉コーディネーターさんにすぐに連絡して相談に乗っていただくようにしています。
- ・人数を分けて2部制、手作りの会食をせず発注した弁当を取りにきてもらう。
- ・食事サービスはお弁当を配食、脳話はプリントにしたり体操は2部に分けたりと工夫をしています。
- ・できるだけ今までの活動内容を持続できるよう、宿題を出したり情報をプリントにして配っている。
- ・分散して人数を減らしてやっている。
- ・人数制限（分ける）喚起、消毒（来た時と帰る時）
- ・消毒、人数制限、喚起、机や椅子の向き（向かい合わせにはならない）、マスク、検温、声を出さない形式に変える、グループ活動から個人活動へ
- ・ふだんの活動を実施した場合、アピール強化
- ・地域での活動は休止中につき対策はなにもしていない
- ・消毒液、体温計、空気清浄機の設置
- ・プロの力を借りたい、陶芸教室（1人だけ知人がいます）
- ・スマホを持つようにすすめている
- ・会員さん達の健康安否を知る為、時々連絡を取る。
- ・体調の自己管理と体調の悪い時は必ず報告。参加しない勇気を持つこと。
- ・コロナ感染防止対応を徹底したうえで前向きに取り組む。
- ・連絡をとりあっています。
- ・自分んで出来る範囲で出来ること
- ・空気清浄、三密×、ソーシャルディスタンス、マスク、消毒
- ・コロナ禍の中でも出来る空間づくり
- ・アルコール消毒の徹底
- ・工夫なし・対策なしで日々苦悩している
- ・マスクの着用・消毒・検温をベースに、会議時間の短縮
- ・今のところ具体的活動が出来ていません
- ・地域内で会えば笑顔で元気ですかと声を掛け合います。
- ・フェイスシールドを使う
- ・電話でお話しをする様に
- ・訪問出来ないなので電話での安否確認
- ・基本を守って行動する
- ・私見ですが、今回のコロナ禍は平和ぼけした国民の増上慢から生じたものだと思います。今こそ真摯な気持ちに立ち帰り、真剣に対応することが肝要かと思っています。これは個々人の気持ちの持ち方です。
- ・消毒やマスク、密をさける。
- ・別に行っていません。
- ・活動出来ていません
- ・対面による会議（つながっておく事）
- ・パーテーションを立てたり、座る感覚を開けたりして再開できないか考え中。しかし、飲食を伴う活動なのでとても厳しい。
- ・今は会う事は出来ないため高齢者の方に電話をかける事が多いです。
- ・他の地域はどの様に取り組んでいるのかお話を伺っています。
- ・3密を避け、消毒をする。マスクの着用
- ・検温・マスク・消毒
- ・電話で聞く
- ・具体的な対策は行っていない
- ・一番良いのは人と人が会って会話することが望ましいができない。環境下ではLINE、メールを利用して相互の連絡を密にしている。
- ・連携がよく取れている
- ・コロナの収まりを待つのみ→IoTの活用を考える

## アンケート項目以外のことで、伝えたいことなどがあれば教えてください（自由記述）

- ・ソーシャルディスタンスを徹底的に守って行事を行えば、特に高齢者のうれしい事寂しい事困りごと等の声を聞いてあげることができる。
- ・保険福祉センターの地域担当者の方、包括支援センターの担当者の方、役立ち情報ありがとうございます。社協、役所関係の方の来館感謝しております。
- ・地域全体で住民の心身の健康増進に努めたい
- ・65歳以上が自粛じゃ～何の活動もできない！！
- ・自転車の交通ルールの教育、主婦・子ども（小中高）一般人含め左側通行、通行してはいけない歩道、マナー等、教育の徹底が必要。毎朝危険すぎる。
- ・コロナの怖さ（後遺症）＝具体的に周知
- ・▲印のマークの事業には補助金0はいけない
- ・×印は極力避ける、むしろ出来る方法を指示下さい。
- ・zoomの勉強会してほしい。スマホの勉強会も
- ・いろいろ検討しています。
- ・地域活動の判断指標を対応要請期間の1、2日前に発信してほしい
- ・この活動を長く続ける様、ボランティアの育成
- ・コロナ対策をしっかりして少しでも出来る事からボチボチやっていきたい
- ・1人生活の人が多い中、顔を見るだけに行事をしています。
- ・コロナがおさまらなければ何もできない
- ・食事サービスでお弁当を届ける事は安否確認にもなるのでよかったと思います。ボランティアの方々は大変だと思いますが...ありがとうございます。
- ・ご苦労様です
- ・Zoom会議などによる援助（Zoom契約、パソコンによってはカメラ設置）ネットない方のモバイル貸し出し
- ・町会長、女性部長には地域活動の判断指標等を配布し理解をもとめる